

ダイソー「コンパクトホッチキス」の改造資料

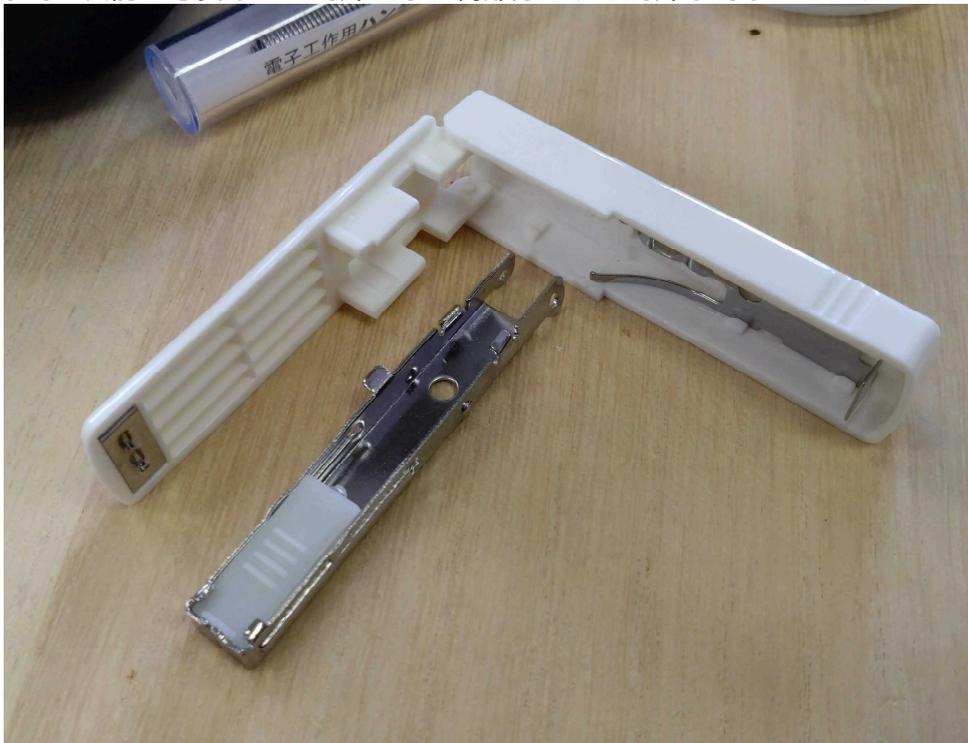
1. 改造する「コンパクトホッチキス」の入手

子供たちが弱い力でも握るなどしてスイッチが入られる物は無いかとダイソーをウロウロして見つけたのが「コンパクトホッチキス」です。税込み110円の商品です。



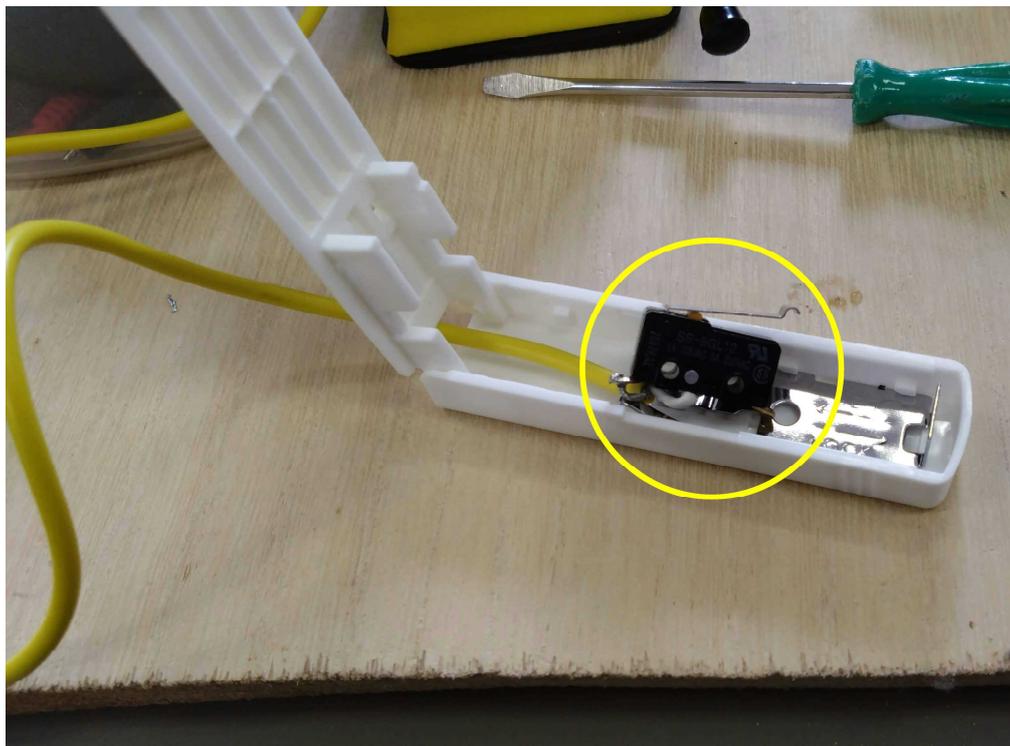
2. 本体の分解

ホッチキスとしての機能は必要ないので外れる金属部分はすべて外してしまいます。



3. スイッチの配線

適当な大きさのマイクロスイッチにあらかじめケーブルを接続して、ホッチキスの根元の際間にケーブルを通します。マイクロスイッチはある程度大きさがあつた方が握る幅が確保できます。かなり弱い力でもスイッチが入ります。



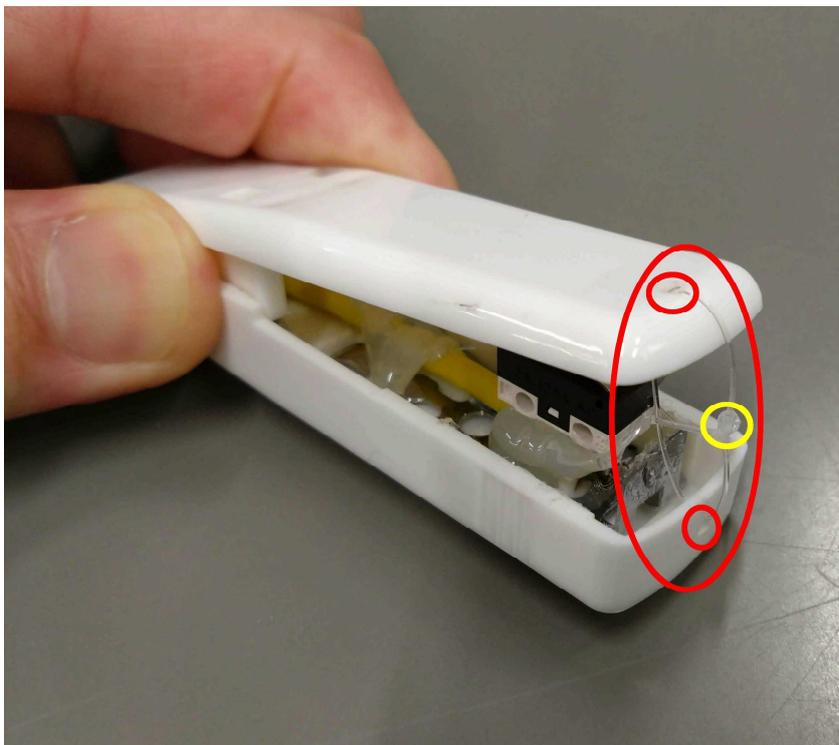
4. スイッチとケーブルの固定

ケーブルの抜け防止とスイッチの固定のためにホットボンドを使用しました。接着剤等でも代用はできるとは思いますが、ホットボンドは一つ持っているといろいろ活用の機会があります。



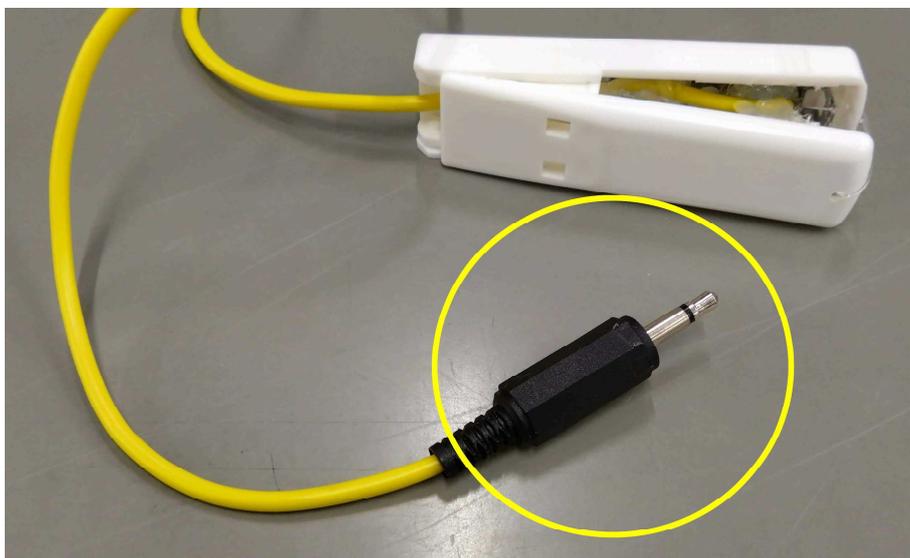
5. ホッチキスの開き止め

このままではホッチキスが開いてしまいますので開き止めをします。細いドリルで穴を開けて、テグス(釣り糸)で固定しました。このときに閉めすぎるとスイッチが入りっぱなしになってしまいますので、適度な開きをキープできる間隔で固定してください。結び目に瞬間接着剤を塗っておくとほどけにくくなります。



6. プラグを取り付けて完成

外部のおもちゃ等を動かすためにケーブルの先にモノラルプラグを取り付けます。



注：材料費はダイソーのコンパクトホッチキス、マイクロスイッチ、モノラルプラグで300円程度で済みます。

配線、半田等は別途必要です。

道具はニッパ、ドリル、半田ごて、ホットボンドなどが必要です。